日本教育史部門

「高度経済成長期教育史」研究部会（第６回）

日時：2022 年 9 月 21 日（水）13:00～15：30
場所：オンライン
出席：米田俊彦・大島宏・須田将司・鳥居和代・西山伸　兼任研究員
　　山口和人所長・吉久知延・川上智子（野間教育研究所事務局）
欠席：金沢千秋

内容：（１）西山研究員「文部官僚のオーラル・ヒストリーにみる高度経済成長期」
今回使用したオーラル・ヒストリー対象者
天城勲（文部事務次官）、木田宏（大学学術局長）、西田亀久夫（大学学術局学生課長）、齋藤正（文部事務次官）、村山松雄（文部事務次官）、清水成之（文部省管理局長）

1　大学管理法・三八答申・期待される人間像
2　高度経済成長期の拡大
3　大学紛争（1）大学の運営に関する臨時措置法　（2）紛争に対する評価
4　四六答申
5　その他（1）入省の経緯　（2）1950 年学生運動の対応

（２）大島研究員「沢井実『日本の技能形成』と『技能形成の戦後史』について」

1,『日本の技能形成　製造現場の強さを生み出したもの』（名古屋大学出版会　2016）
「第 8 章 戦後への展開―昭和 20 年代から高度成長へ」
①戦後の概観　②普通教育への注目　③二重通学問題

2,『技能形成の戦後史―工場と学校をむすぶもの―』（名古屋大学出版会　2021）
「序章 技能形成の両論―職業訓練と職業教育」「第 1 章 中教審による職業教育再編の模索―高校進学率上昇の衝撃」「第 2 章 職業訓練政策をめぐる力学―新職業訓練法の成立まで―」「第 5 章 高卒技能者時代の到来―学歴・職業関係の変容とその影響」「第 6 章 変わりゆく工業高等学校―卒業者の軌跡と直面する諸問題」「第 7 章 公共職業訓練の変遷と苦闘―高校進学率上昇への対応」「第 8 章 各種学校の量的拡大と発展―もう一つの学校における実務能力・技能の養成」「終章 高校進学率の上昇と技能形成の変貌」

・高校進学率の上昇と高卒技能者の採用の関係
50 年代後半から高卒技能者は採用されている　中卒者の集団就職は継続
→関連はあるが、「因果関係」で説明してよいか？

・教養教育・一般教育の重視
技能形成にあたって、政府・企業は教養教育・一般教育を重視
養成工や定時制高校生徒も「教養」を求めていた

・次回研究会　　10 月 14 日（水）13:00～
・次々回研究会　11 月 18 日（金）13:00～